

2019年7月5日

各位

日本特殊陶業株式会社
三菱日立パワーシステムズ株式会社

日本特殊陶業と三菱日立パワーシステムズ、燃料電池セルスタックの製造・販売を行う合弁会社の設立・共同運営に関する契約を締結

日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市瑞穂区、以下 NTK）と三菱日立パワーシステムズ株式会社（社長：河相 健、本社：横浜市西区、以下 MHPS）は、このたび、固体酸化物形燃料電池（SOFC*1）の発電要素である円筒セルスタック（*2）の製造・販売を行う合弁会社を共同で設立・運営することに関し、合弁契約を締結致しました。

記

燃料電池は、クリーンな発電装置として、業務用、産業用などでの活用が期待され、将来的なエネルギー・環境問題の解決策の一つとして期待されています。

両社は、2014年6月から円筒セルスタックの量産に向けて業務提携を締結して開発を進めておりましたが、それが実り、MHPSの長寿命、熱利用が可能な円筒セルスタック設計技術と、NTKが保有するセラミックスの量産技術を融合させ、高性能円筒セルスタックを事業化する運びとなりました。

今後、NTKにて準備会社を設立した後、競争法当局の審査を経て、合弁会社の設立へと進める予定です。

□ 合弁会社の概要（予定）

設立する合弁会社については、2社で協議中であり、現時点では以下の内容で検討しています。

(1)名称	検討中
(2)所在地	愛知県小牧市
(3)代表者の役職・氏名	検討中
(4)事業内容	円筒横縞形セルスタックの製造及び販売
(5)資本金	3億円
(6)出資比率	NTK 70%、MHPS 30%
(7)事業開始予定	2019年10月1日

(*1) 固体酸化物形燃料電池 (SOFC) : SOFC とは、空気中の酸素 (O₂)、都市ガス等を改質して取り出す水素 (H₂) や一酸化炭素 (CO) を利用し発電するものです。発電の重要な部分であるセルスタックの構成はすべてセラミックスで構成されています。

(*2) 円筒セルスタック : 高強度のセラミックス製の構造部材である基体管の外表面に、発電反応を行う素子 (燃料極/電解質/空気極の積層体) を複数形成し、素子間を電子導電性セラミックスのインターコネクタで直列に接続 (円筒横編形セルスタック) しているため低電流で高電圧の電気出力を効率よく取り出すことができます。

■合弁契約調印式の様子



左 : 日本特殊陶業 代表取締役社長 川合 尊

右 : 三菱日立パワーシステムズ 常務執行役員 吉田 泰二

■日本特殊陶業株式会社について

当社は、1936年に創業し、名古屋市に本社を構える総合セラミックスメーカーです。内燃機関におけるスパークプラグ、排気酸素センサにおいては、世界トップシェアを誇り、また、半導体部品におけるパッケージ、機械工具、医療用に用いられるバイオセラミックス、産業用セラミックスなど幅広いラインアップを提供しております。世界中に販売・製造拠点を有し、15,000名を超える従業員が世界の皆さまに新たな価値を提供できるよう取り組んでいます。現在は、持続可能な社会における環境エネルギー、次世代自動車、医療などの製品開発にも取り組んでいます。今後も、「ナンバーワンかつオンリーワンのものづくり」を目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<https://www.ngkntk.co.jp/>

■三菱日立パワーシステムズ株式会社（MHPS）について

当社は、2014年に三菱重工業株式会社と株式会社日立製作所が両社の火力発電システム事業を統合し設立した会社です。設立以来、両社から継承した高品質で信頼性の高い製品を生み出す技術力、世界のさまざまな地域でプロジェクトをまとめ上げる総合エンジニアリング力、きめ細やかな営業・サービス力を強化するとともに、グローバルな事業展開を進めてきました。当社は、世界最先端のクリーン発電技術を追求するとともに、エネルギー分野のグローバルリーディングカンパニーとして、低炭素社会の実現に貢献していきます。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<https://www.mhps.com>

以上

■お問い合わせ先

日本特殊陶業株式会社 経営戦略本部 広報部 黄木・内川・松野・鳥居
電話:052-872-5896

三菱日立パワーシステムズ株式会社 広報グループ 金村（かなむら）・小山（こやま）
電話:045-200-7163